

令和6年度 活動テーマ
お客様に選ばれ続ける
エネルギー、LPガス！
(活動目標)
1. 保安の確保の充実
2. 料金の透明化と取引の適正化
3. 防災対策と訓練
4. 需要創造への取り組み
5. LPガスのブランド力の向上

愛媛県LPガス情報

ホームページアドレス <http://www.ehime-lpg.or.jp>
メールアドレス info@ehime-lpg.or.jp

発行者
(一社)愛媛県LPガス協会
〒790-0003
松山市三番町6丁目7-2
ラベルダムビル4階
電話(089)947-4744
FAX(089)947-8499

令和6年度保安講習会実施状況について

標記につきまして、取りまとめが完了しましたのでご報告いたします。今年は、例年ない酷暑のなか、月末月初でご多用のところたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。各会場の実施・出席状況は次のとおりです。

愛媛県の各地方局、新居浜市・松山市の消防の担当官からは、「液化石油ガス販売事業に関する保安指導方針」と題して、県内事故の発生状況や事故防止について、帳簿等審査会での違反事項について、法改正・取

引適正化に関する省令改正についてご説明いただきました。

妹尾会長からは、「LPガス業界の動向について」と題し、取引適正化の省令改正に関してガイドラインをもとにご説明いただきました。

最後に、当協会より「供給機器の期限管理について」と題し、部品の劣化現象や期限管理に関する法律や期限の確認方法やバルク用調整器の期限管理についてお話ししました。

なお、今回諸事情でご参加が叶わなかった方で資料の送付をご希望される場合は、協会事務局までご連絡ください。

令和6年度保安講習会実施計画表

開催日	地区名	行政担当者	会場名及び所在地	令和6年度参加者	令和5年度参加者
7月22日(月)	四国中央・新居浜支部 (新居浜市消防本部)	新居浜市消防本部予防課	マリンパーク新居浜 2階会議室	50	47
7月24日(水)	西条・周桑支部 (東予地方局)	東予地方局防災対策室	西条市地域創生センター 3階大研修室	24	33
7月29日(月)	今治支部 (東予地方局)	東予地方局防災対策室	今治地域地場産業振興センター 4階第2研修センター	48	40
8月2日(金)	八幡浜・西予支部 (南予地方局)	南予地方局防災対策室	愛媛県歴史文化博物館 2階第1・2会議室	31	27
8月6日(火)	松山支部 (松山市消防局)	松山市消防局予防課	松山市総合コミュニティセンター 3階大会議室	69	77
8月7日(水)	大洲支部 (南予地方局)	南予地方局防災対策室	大洲市総合福祉センター 1階会議室	20	24
8月8日(木)	宇和島・南宇和支部 (南予地方局)	南予地方局防災対策室	宇和島市総合福祉センター 4階会議室	27	30
合 計				269	278

令和6年度第1回青年部会

1. 日 時

令和6年6月11日(火) 14:00~16:30

2. 場 所

コムズ 松山市男女共同参画推進センター 3F 会議室2

3. 委員数及び出席委員

委員数22名 出席委員12名

4. 開会挨拶

越智部会長より挨拶

5. 報告事項

令和6年度事業計画と予算について事務局より報告。

6. 協議事項

①委員交代について

松山支部1名の交代。西条支部2名から1名へ交代。

②中四国ブロック青年部会研修会について

依頼人数までまだ足らないため引き続き参加を募る。募集範囲について協議。

⇒委員の社内代理・直近の部会OBまでは承認。

③火育教室活動について 協議進行：新地副部会長

1件依頼があったが、今年度は見送り。

周知活動について

今年度は過去申し込みいただいた学校へ案内状を送付。(事務局対応)

各支部エリアの学校へ今年度末を予定に資料を持参してもらうが、来年度は、県下小学校への案内状送付を検討する。

今後の動きについて

座学やかまど体験を委員全員ができるようにしていく。座学は、

向井副会長のセリフを文字起こしする(事務局対応)かまど体験は、次回部会の時におこなう事で承認。

④PR広報活動について 協議進行：向井副会長

2月、ジョブプロジェクト(株)越智先生との打ち合わせを報告。

コンサル依頼は予算的に難しいため、引き続き部会で進めていく。正副部会で協議したみきゃん入りのロゴデザインで県に申請することで承認。

申請は事務局対応 キャッチコピーのフォント修正後。

ア. 今後の動きについての2つの目標

- お客様にPRするためにも、まずは会員事業者さんへの認知度を高めていく。
- 会員事業者さんに周知する際の具体的なツールを作成していく。

イ. 申請許可後

- 情報紙に掲載・協会ホームページにフリー素材として掲載
- 斡旋品(交付文書や周知文書などのデザインを入れ替えていく)

ウ. 作成していく物 ※シンプルな物を揃える。

・社章バッジの作成

・営業車のマグネットステッカー

・タオル

・のぼり

・防災グッズ

・支部展示会での販促物(うちわや風船など)

峯本担当理事より

- 理事会に報告・協議事項で発表できるように今日の会議を整理していただきたい。
- PR広報予算については、有益に使うように検討し執行していただきたい。

越智部会長より挨拶後、閉会



6.8.26

一般社団法人 国LPガス協会

令和6年度第1回流通部会打ち合わせ会

1. 日 時

令和6年7月23日(火) 13:30~14:45

2. 場 所

コムズ 松山市男女共同参画推進センター 3F 会議室2

3. 委員数及び出席委員

委員数13名 出席委員6名

4. 開会挨拶

越智部会長より挨拶

5. 協議事項

令和6年度部会事業への取り組みについて

①料金の透明化と標準料金の公表と促進

②取引適正化の推進に係る実態調査

③3部制料金導入に対する対策について

妹尾会長より、商慣行是正に向けた制度改正の施行された「過大な営業行為の制限」と「LPGガス料金等の情報提供」について、ガイドラインと全J協総会で講演された資料をもとに説明をおこなった。

令和7年4月2日に施行される「三部料金制の徹底」に向けての対策として施行までの残り9ヶ月でどこまで準備ができるか。現状、料金の公表の仕方について調査をしてはどうかという案がでた。

取引適正化の推進に係る実態調査については、義務ではないが「自主取組宣言」の取り組みを推奨していく。

→7月の情報紙と一緒に同封して送付済み。

⑤普及講習会について

全J協の「LPGガスカーボンニュートラルについて」とリンナイ(株)の「エコジョーズ化提案の深堀について」を候補とし理事会で諮る事で承認。

6. 閉会挨拶

越智部会長より挨拶後、閉会

令和6年度第1回保安部会

1. 日 時

令和6年7月25日(木) 13:30~15:30

2. 場 所

コムズ 松山市男女共同参画推進センター 3F 会議室2

3. 委員数及び出席委員

委員数11名 出席委員7名

4. 開会挨拶

亀岡部会長より挨拶。

5. 報告事項

容器流出防止対策の3月集計結果を事務局より報告

6. 協議事項

令和6年度事業への取り組みについて事務局より説明後協議を行う。

①保安対策事業

○LPGガス安心サポート推進運動

自主保安活動チェックシートの項目で、全国平均より低い項目を確認、事故防止・法令遵守の項目から取り組んでいく事で承認。

自主保安活動チェックシートに、優先して取り組む項目に★印を追記。

○業務用施設の事故防止対策の推進

現状、電源コンセントに空きがない施設が多く業務用換気警報器の設置が難しい。換気の重要性を引き続き周知ならびに設置もお願いしていく事で承認。

②防災対策事業

・自治体主催の防災訓練への参加

現状は地区単位の訓練に参加。各支部、防災協定をもとに市町から要請があれば参加する。

・防災協定、災害マニュアルの見直し

防災協定は全体に関わる内容については部会で見直し、直接自治体とのやり取りは引き続き各支部にお願いする事で承認。

災害マニュアルは、製造事業所地図や連絡網リストなどを差替え予定。内容については支部の意見を次回までに聞きながら協議していくことで承認。

③その他 普及講習会・需要開発セミナーのテーマについて

No.15のパーカス(株)の「非常用発電機～」を候補とし理事会に諮る事で承認。

新理事者や未登録理事者の方にANPIC登録を依頼する。

7. 連絡事項

行事予定を事務局より連絡。

8. 閉会挨拶

亀岡部会長より挨拶後、閉会

令和6年度第1回需要開発部会

1. 日 時

令和6年7月30日(火) 10:30~11:30

2. 場 所

コムズ 松山市男女共同参画推進センター 3F 会議室2

3. 委員数及び出席委員

委員数12名 出席委員8名

4. 開会挨拶

森部会長より挨拶

5. 協議事項

令和6年度事業への取り組みについて

①最新型省エネガス機器の販促促進に係る事業

→補助金の情報を引き続き情報紙で周知していく事で承認。

パネル作成

→古い情報をアップデートする。全J協にデータがあるかを確認して、いくつかの候補の中から部会委員でアンケートを実施して決める事で承認。各支部が展示会を開催するまでに準備をする。

各支部展示会

→今年度の予定

四国中央支部は開催予定。今治支部は確認。松山支部は誌面開催予定。大洲支部は2日間から1日開催へ変更予定。八幡浜市は誌面開催予定。宇和島支部は不明。南宇和は未定。

②自治体への災害対応型GHP、バルク等の設置推進事業

→全J協の各都道府県協会の成功事例では支部が積極的に地方自治体へ提案を行い導入する事例が8割を占める。引き続き、支部で動いていただくようお願いをしていく事で承認。

③需要開発セミナー

→テーマ候補

「LPGガスカーボンニュートラルについて」

「災害対応バルク補助金の傾向とバルク20年検査の動向について」を理事会に諮る事で承認。

6. 連絡事項

事務局より行事予定の報告。

7. 閉会挨拶

森部会長より挨拶後、閉会

令和6年度第1回総務部会

1. 日 時

令和6年7月30日(火) 13:30~14:55

2. 場 所

コムズ 松山市男女共同参画推進センター 3F 会議室2

3. 委員数及び出席委員

委員数14名 出席委員8名

4. 開会挨拶

得能部会長より挨拶。

5. 審議事項

議題1. 定款第23号の見直しについて

事務局から資料に基に経緯を説明。定数の下限値減少について意見を募った。

・「15名」にしてはどうか

・役員数が減れば、部会活動などで一人にかかる負担が大きくなってしまう

・今の人数をキープするために、役員選任規程を改変すればよい

・理事数を減らすかどうかは別として、今後、定款に抵触しないように下限値を減らしておいてもよいのではないか

定款の役員定数を「15名以上30名以下」に変更すること、支部選出役員を20名ほど確保できるよう役員選任規程も見直しを行うことを理事会に上程する旨を提案し、異議無く承認された。

議題2. 各種表彰候補者の推薦について

関連団体への推薦状況と、7月19日現在の協会長表彰の推薦候補者について報告した。協会長表彰については候補者が十分でない事から、推薦書提出期限を8月6日まで延長することとし、各支部で再度検討してもらうよう依頼した。

議題3. 今後の支部予算について

妹尾会長が、今までの経緯と問題点を説明。各支部の現状を参加委員からヒアリングし、来年度以降の予算の在り方について意見交換を行った。

・需要開発部会が、需要拡大に向けた展示会等の実施を支部に依頼

・展示会費用が多くなっているが、日数や会場を変更することで圧縮を検討

・支部単独での展示会は難しい

・会員数と支部活動への参加者数に開きがあるため、活動に制限がかかる

事務局から、展示会や広報活動だけが支部活動や予算の対象ではないことを補足し、行政への働きかけや支部内の連携にも力を入れてもらうよう依頼。支部活動や予算について支部内で十分な議論がされないまま上がってきていたケースも散見されるため、いま一度支部で議論してもらうよう要請した。

議題4. 会費算定に係るシステムの見直しについて

事務局より、現状と今後の対応案について説明した。Kintoneのアプリ開発について提案し、異議無く承認された。

6. 報告事項

・会員の動向について

・第2回愛媛県LPGガス料金高騰緊急対策支援事業経過報告

7. 閉会挨拶

妹尾会長より挨拶後、閉会

2024年度自治体によるエネファーム導入に係る補助金について

各自治体によるエネファーム導入に係る補助金一覧が更新されましたのでお知らせいたします。

合わせて国がおこなっております、「住宅省エネ2024キャンペーン」の申請状況も掲載いたします。

国の予算はまだ申込が可能ですが、地方自治体は予算の残りがわずかになってきている市町が出てきております。該当市町のお客様と導入を進めている

事業者様におかれましてはお急ぎください。

国の予算状況

予算に対する補助金申請額※の割合（概算値）

各事業それぞれ、補助金申請額が予算上限（100%）に達し次第、交付申請の受付が終了されます。

子育てエコホーム支援事業 新築 41%	先進的窓リノベ2024事業 リフォーム 33%	給湯省エネ2024事業 49% 撤去加算の進捗：65%	賃貸集合給湯省エネ2024事業 1%
2024年8月13日 午前0時時点	2024年8月13日 午前0時時点	2024年8月13日 午前0時時点	2024年8月13日 午前0時時点

賃貸集合給湯省エネ2024事業の予算は185億円（令和5年度補正予算）で、まだ、申請の余裕はあります。

賃貸集合住宅のオーナーまたは不動産管理会社にご提案ください。

ガス事業者が所有する賃貸住宅における省エネ型給湯器の取替においても、

全J協に申請し、認定された例外LPGガス販売事業者は補助申請の対象となります。申請の様式は、愛媛県LPGガス協会HPに掲載しておりますので、ご確認ください。

都道府県市・区・町※1	事業名※2	申請受付期間（予定）	エネファーム導入補助内容（補助額上限、条件、予算／予定期数等）	採択法	申請時期※3	国補助の併用	予算残状況※4
松山市	ゼロカーボン等推進補助（家庭用燃料電池システム）	2024.4.1～	6万円	先着	B	○	—
東温市	新エネルギー機器等設置費補助	～2025.3.14 (設置後6か月以内)	10万円 蓄電池分と併せて50件を予定	先着	B	○	7.8時点残40件
	ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）導入費補助	～2025.3.14 (工事後6か月以内)	20万円 15件を予定	先着	B	○	6.12時点残9件
今治市	住宅用新エネルギー等関連設備設置費補助	2024.5.7～7.31 (2023年度設置分)	9万円	抽選	B	○	—
宇和島市	新エネルギー設備等導入費補助	2024.5.7～2025.3.31	10万円	先着	B	○	—
八幡浜市	新エネルギー設備等導入費補助	2024.4.1～2025.2.28 (導入完了後1年以内)	10万円 エネファーム分として5件を予定	先着	B	○	6.3時点残4件
西条市	新エネルギー等関連設備導入促進事業補助	2024.4.1～ (導入完了後1年以内)	10万円	先着	B	○	7.11時点残303万円
大洲市	家庭用蓄電池等設備設置費補助	2024.4.1～ (導入完了後1年以内)	10万円	先着	B	○	—
西予市	新エネルギー設備等導入費補助	2024.4.1～ (導入完了後1年以内)	10万円	先着	B	○	—
愛南町	新エネルギー等導入促進補助	2024.4.1～	10万円 総予算額500万円	先着	A	○	—
鬼北町	新エネルギー機器等設置費補助	—	10万円	先着	A	○	—
内子町	地球温暖化対策設備導入事業補助	2024.4.1～	10万円 エネファーム分として1件を予定	先着	A	○	—
砥部町	住宅用新エネルギー機器設置費補助	2024.4.1～2025.3.31 (設置完了後1年以内)	10万円	先着	B	○	5月末で終了
久万高原町	新エネルギー機器等設置費補助	—	15万円	先着	B	○	—
伊方町	新エネルギー機器等設置費補助	—	20万円	先着	B	○	—

※1 都道府県および補助事業実施を発表している市・特別区・町（村は調査できたもののみ）

※2 エネファーム導入補助金制度およびエネファーム設置が特に補助対象となっている住宅リフォーム補助事業等を記載

※3 A：設置前（設置後の完了報告も必要）、B：設置後等

※4 ○：受付け残期間に見合った予算残状況、△：締切り前に受付終了となる見込みのため注意が必要、×：受付終了済み（追加受付が実施されることがあります）、—：予算消化状況の発表なし（個別に問合せ要）補助金申請等ご利用に際しては、必ず各自で最新情報を確認願います。

